

みなみしまばらし 議会だより

No.48
平成 30 年 5 月 11 日発行

主な 内容

- 平成 30 年度一般会計当初予算……………P2～P3
- 平成 30 年度特別会計・水道事業会計当初予算 ……P4
- 平成 29 年度一般会計・特別会計補正予算 ……P5
- 一般質問に17人が登壇「市政を問う、……………P6～P14
- 委員会活動 ……P14～P17
- その他 ……P17～P20

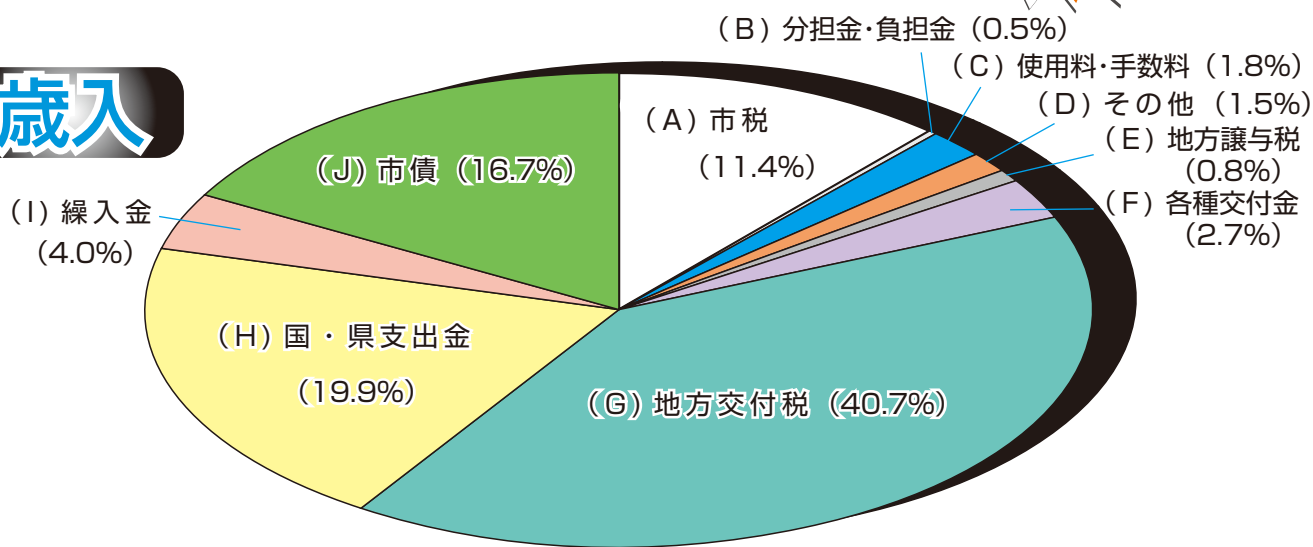
3月定例会（2月22日開会～3月20日閉会）において、
3月5日と6日の2日間、予算審査特別委員会を開催し30
年度当初予算について審議を行いました。

（前年度比 0.04%増）

予算は、原則、義務的経費（人件費、公債費、
上した『骨格予算』となっています。



歳入



の家計簿に例えると……こんな感じです

〈歳入〉

一般会計予算 (単位: 千円)	
(A)市 税	3,420,163
(B)分担金・負担金	148,102
(C)使用料・手数料	534,826
(D)そ の 他	455,817
(E)地方譲与税	245,000
(F)各種交付金	835,000
(G)地方交付税	12,200,000
(H)国・県支出金	5,957,281
(I)繰 入 金	1,189,583
(J)市 債	5,021,900
合 計	30,007,672

〈収 入〉

家計簿に例えた場合 (単位: 円)	
基 本 給	342,000
各 種 手 当	113,000
親からの収入等	1,923,000
預金取り崩し	120,000
銀行からの借金	502,000
合 計	3,000,000

※『貯金』 基金状況：(30年度末見込)

一般会計……………183億7,936万4千円

国民健康保険財政調整基金…5,732万5千円

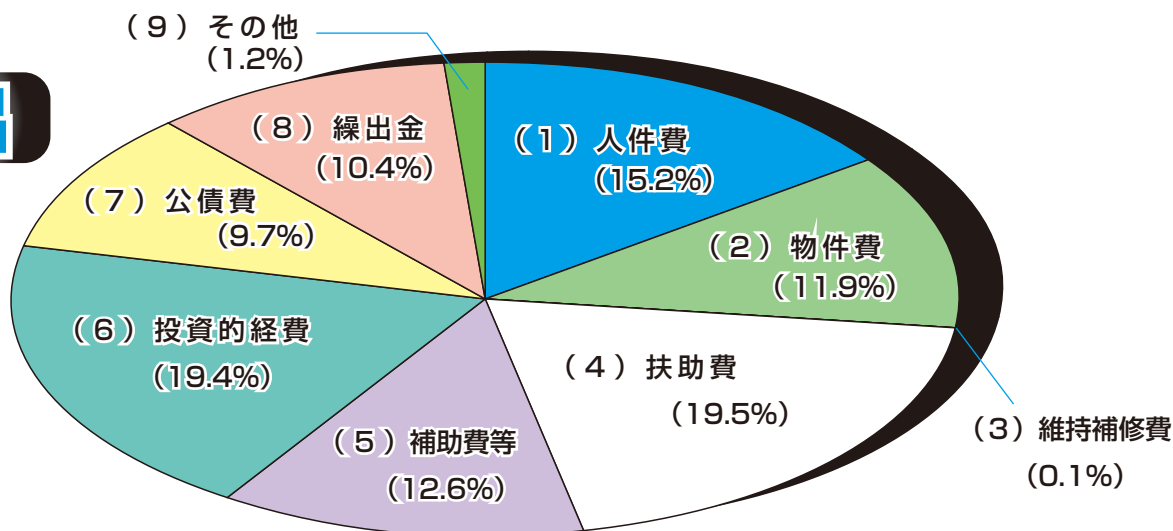
平成30年度

一般会計当初予算

300億767万2千円

平成30年6月に市長選が行われることから、30年度当初
扶助費など）と管理的な行政経費や継続中の建設事業などを計

歳出



南島原市の一般会計予算を、年収300万円の家庭

〈歳出〉

一般会計予算 (単位: 千円)	
(1) 人 件 費	4,580,164
(2) 物 件 費	3,568,332
(3) 維持補修費	31,993
(4) 扶 助 費	5,865,077
(5) 補 助 費 等	3,773,733
(6) 投資的経費	5,830,593
(7) 公 債 費	2,902,657
(8) 繰 出 金	3,111,450
(9) そ の 他	343,673
合 計	30,007,672

〈支出〉

家計簿に例えた場合 (単位: 円)	
食 費・被 服 費	458,000
光 熱 費	357,000
車等の修理費	3,000
医 療 費	587,000
学費・各種会費	377,000
家の修繕費等	583,000
ローンの返済	290,000
子どもへの仕送り	311,000
そ の 他	34,000
合 計	3,000,000

※『借金』 市債の状況：(30 年度末残高)

一般会計……………243 億 6,622 万 3 千円

下水道事業特別会計……30 億 6,500 万 3 千円

水道事業会計……………50 億 8,845 万 1 千円

平成30年度 特別会計当初予算

98億5,828万5千円 前年度比28.1%の減

可決

国民健康保険事業

84億7,530万4千円

主な歳入歳出予算 (前年度比-20.9%)

国民健康保険税……………15億2,458万3千円
一般会計繰入金……………1億5,014万円
療養費・高額療養費…………61億5,608万9千円



後期高齢者医療

6億4,441万5千円

主な歳入歳出予算 (前年度比+0.9%)

後期高齢者医療保険料……………4億510万2千円
広域連合納付金……………6億3,157万5千円



下水道事業

7億3,856万6千円 (前年度比+13.8%)

主な歳入歳出予算

下水道使用料……………6,470万8千円 施設整備費……………3億867万5千円
一般会計繰入金……………4億783万8千円 公債費……………2億7,157万3千円

平成30年度 水道事業会計当初予算

18億8,445万円

可決

(今年度より簡易水道事業も企業会計に一本化となる)

※予算額は収益的支出と資本的支出の合計額

収益的支出額……………13億583万1千円 資本的支出額……………5億7,861万9千円

業務の予定量

- ・給水戸数……………18,280戸
- ・年間総給水量……………5,348,200m³
- ・一日平均給水量……………14,653m³
- ・建設改良事業……………谷川地区配水管布設替工事(1工区)外

平成29年度

一般会計補正予算(第5号)

補正額 1,233 万円の増額

可決

公共交通対策事業に要する経費

1,517 万 6 千円増額

決算見込みによる事業費

12 億 500 万 4 千円減額

学校施設整備基金積立金

2 億円増額

減債基金積立金

10 億 2,540 万 7 千円増額

平成29年度

特別会計補正予算

補正額 788万6千円の減額

可決

国民健康保険事業 (補正第 2 号)

500 万円増額



簡易水道事業 (補正第 3 号)

1,235 万 2 千円減額



下水道事業 (補正第 1 号)

687 万 7 千円減額



後期高齢者医療 (補正第 3 号)

634 万 3 千円増額



18歳・19歳で 立会人の導入を考 えて啓発しては

選挙管理委員長／選挙管
理委員の皆さんの意見を
聞いてみたい。



松永忠次 議員

市政について

議員 市長選挙で、市長
の思いは。

市長 市民の皆様のご理
解をいただきながら、こ
の市長という重責を担わ
せていただきたいと考え
ている。

投票立会人について

議員 衆議院議員選挙及
び、長崎県知事選の投票
率は大変低調であったと
思うが、本市の投票率は
何%だったのか。

第48回来議院総選挙の18歳、19歳の投票率

長崎県合計

	有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)
18歳	12,993	6,816	52.46
19歳	12,149	3,538	29.12
県計	25,142	10,354	41.18

市町名	投票率 (%)			全年齢 投票率
	18歳	19歳	合計	
南島原市	47.69	19.61	34.98	57.87
島原市	54.15	18.06	38.93	58.43
雲仙市	58.69	33.84	46.72	69.19

H30年2月 長崎県知事選挙 投票結果

	有権者数 (人)	投票者数 (人)	棄権者数 (人)	投票率 (%)	前回 投票率 (%)
南島原市	40,009	17,396	22,613	43.48	49.85
島原市	38,369	14,392	23,977	37.51	51.87
雲仙市	37,349	13,866	23,483	37.13	40.83

議員 啓発は行っている
のか。

選挙委員長 島原翔南高
校、口加高校の2校で期
日前投票所を設置した。

議員 知事選同様、市長
選、市議選も島原翔南高
校、口加高校に期日前投
票所を設置するのか。

選挙委員長 設置の方向
で検討したいと思ってい
る。

議員 18歳、19歳で、立
会人の導入を考えて啓発
しては。

選挙委員長 非常に有効
ではないか、というよう
な考えを今持っている。

議員 社会人になってい
る方もおられると思う。
導入して、少しでも若者
の投票行動を啓発するよ
うなPRが必要では。

幅広い層か

ら、いわゆる適宜選任す
るということをも、まず第
一に考えており、委員の
皆さんの意見を聞いてみ
たい。

議員 投票所は何か所あ
るのか。

選挙書記長 市内41カ所
である。

議員 市長選及び、市議
会議員選挙の立候補者説
明会の日程は、もう決ま
っているのか。

選挙委員長 立候補予定
者の説明会を、4月17日
に予定している。市長選
挙の立候補者の説明会を
午前10時から、市議会議
員選挙立候補予定者の説
明会を、午後2時から予
定をしている。

納税組合長と自 治会長を兼務と する人数を

市長／納税組合長466人
自治会長427人
兼務は350人



高木和恵 議員

議員 情報公開こそが民
主主義と思うが市長の考
えは。

市長 民主主義制度は、
国民・市民が知る権利を
保障され、正確かつ十分
な情報を提供されること
によって、初めて十分機
能されると思う。

情報公開制度は、政治
や行政の透明性を確保す
るために、必要不可欠だ
と思う。

公正で、民主的な行政
の推進に資するための制
度と理解をしている。

議員 自治会活動補助金

の決算額をチェックする
ために、内訳となる資料
を出してもらう事はでき
るか。

市長 これまでの経緯、
これにずっと付随する質
問に対する補助金の関係
で、基本的には出せると
思う。

議員 全ての納税組合長
には、納税率を教えてい
るか。自治会加入世帯の
納税率は、自治会長に教
えるのか。

市民生活部長 企画振興部
には、自治会の加入者の
納税率を知らせる。

納税組合長に対して、
納税率を報告というか開
示というか、している。

議員 まちづくり自治会
活動補助金の、補助金を
交付金に変更した説明を。

市長 南島原市における
助成の内容は、自治会の
活動の割合に応じて支出
をする補助金的なもので
はなく、要領で定めた方
法によって算出した額
を決定交付していたこと
から、今回の制度改正に
合わせて名称を交付金と

(自治会長と納税組合長の兼務調査しらべ) H30.2月

	深	布	有	西	北	南	口	加	合計
自治会長	39	32	82	83	55	54	25	57	427
納税組合長	46	32	120	83	49	54	25	57	466
兼務者数	24	22	48	76	46	54	25	55	350
納税組合が ない自治会長	2		1		6				9
納税組合を 複数もつ自治会	3		25						28

変更した。
議員 名称の変更だけで
はない。事前に自治会長・
納税組合長等関係者に十
分な説明をしていない。
それから、有家にある2
つの団地の自治会を平成
28年度から正規に取り扱
うことになって良かった
と思う。

庁舎再配置の方針は

市長／当面は現状の3庁舎を有効に活用していきたい。



吉田幸一郎 議員

平成29年度施政方針の進捗状況と効果について

〈環境行政〉

議員 南有馬のごみ処理施設は、施設の延命化、新規建設、県央県南広域環境組合への全地区参加の、3案から方針を決定することだったが、方針は。

市長 将来的には、県央県南広域環境組合で処理する方向性で決定した。
議員 県央県南広域環境組合の方針はどうか。

市民生活部長 平成31年度で、現クリーンセンターの委託契約が切れる。32年度には、契約を結ばな

くてはならない。今後施設改修等を含め、どのようなごみ処理を行うか、30年度中には、組合で、一定の方向性を出すと思っている。

議員 し尿処理施設、南有馬衛生センターの、リニューアル事業の進捗状況は。

市長 処理能力を、一日71㎏から130㎏に上げる。改修工事は、秋から着工し、平成33年3月までに完成する予定だ。

議員 29年4月より、有家から加津佐まで、ごみステーション収集を実施したが、効果はどうか。

市長 2週間に1回は、自宅近くのステーションに出せるようになり、ごみ出しの負担軽減が図られたと思う。

議員 7町には、各町に粗大ごみの収集場所があるが、深江町には無く、収集場所が必要だと思うが。

市民生活部長 8町で、公平化できるよう、前向きに検討する。



〈観光交流の促進〉

議員 旧白木野小学校を整備し、創造性豊かな地域づくりと、観光客の増加を目指す、アートビレッジ・シラクノ拠点整備事業の進捗状況は。

教育次長 施設運営に関わるコーディネーターを配置する。芸術家が滞在し、作品の制作を行う活動は10月頃、工房やギャラリー活用、多様な教室、講座開始については、7月から。また、白木野地区の文化を伝える保存資料の整理・活用も計画している。

その他の質問
・企業誘致と創業支援
・南島原ブランド
・多様な農業の展開
・合併特例債の延長



南島原ブランド 島原手延べそうめん

世界文化遺産とは

市長／顕著な普遍的価値を有する文化遺産



山本 芳文 議員

世界遺産について

議員 基本に戻って伺う。世界文化遺産とは。行政がやるべきことは。市民に望むことは。

市長 世界遺産条約で学術的に「顕著な普遍的価値」を有すると認められた文化財であること。行政は構成資産を後世に伝えていくこと、その価値を高めていくことが責務。

市民は文化財に対する理解を深め、認識を深めることが大切。

議員 地域振興にキリシ

タン館設置、駐車場・トイレ整備、原城跡整備と色々と振興保護事業を行ってきた。次は物産館という拠点整備計画5億1,300万円の説明を受けた。市民の盛り上がりが少ない。伝え方が欠けているのではないか。

市長 市民に認識を深めてもらう努力、機会が足りない思いである。

議員 原城跡の訪問客数を、どれくらいと推定しているか。

企画振興部長 年間14万7,000人と推計している。

議員 計画中の物産館のお土産品は、市内の農・水・商に、地元産品を利用した物を作らせ、優秀作品は優先的に納品できるとか、加えて現商品でもパッケージを替えると土産品になるような、企画展を行うことも、地元の盛り上げの方法でもあると思うが。

企画振興部長 地域物産開発支援事業・創業支援事業など、補助金も用意しているので問い合わせが欲しい。

副市長 なんらかの仕掛

けをやっていききたい。

市の名称変更は考えられないか

議員 合併前に、市の名称を公募した時には、「原城市」が多かった。世界遺産登録後に、平成も31年で終わる。書類の変更も生ずる。市名称変更は考えられないか。この件については市民もまだ、わだかまりを持っている者も多いが、原城に賭けてみないか。

市長 現在、南島原市の名称で事業展開をし、一応定着しているの、今は変更する考えはない。

議員 原城が全国に知られている。



原 城 跡

市政を問う



吉岡 巖 議員

市のブランドについて

議員 12年間でどういうブランドが出来たのか、簡単に説明を。

市長 認定した商品については、市内外へ幅広いPRに努めている。

ブランドの確立は、まだこれからであり、今後関係機関と連携をとりブランド確立に向けて取り組んでいく。

誘致企業について

議員 誘致企業の中で、結婚して生活できる給料を支給する会社は、何社来ているか。

市長 現在、三社。地元の企業・会社がしっかりと

としていたかなければいけないので、支援体制をどうしていくかは、本市の課題であると認識している。どういう形で支援できるか、行政としてしっかりと取り組んでいかなければならない。

島原鉄道跡地利用について

議員 島原鉄道跡地利用の計画をどうお考えか。

市長 議会の皆さんの方の知恵もいただきながら相談し、今後どう具体的に活用していくかの検討をしっかりとやっていきたい。

V・ファアレン長崎について

議員 V・ファアレン長崎に、これまで総額いくらか支援をしたのか。

教育次長 平成25年から平成29年までで、五百万円ほど支援している。

議員 子供たちに、サッカー教室をしてくれたという記憶はない。サッカー教室に、二軍



昭和天皇の誕生日に布津漁協で水揚げされた鯛（宮内庁御用達）

の選手でも連れて来てくれれば、子供たちは夢を持って「お父さん、サッカーを応援に行こう、観に行こう」と観客動員にもつながる。そういう事がない監督に対して、そこまでしなければならぬのか。

子供たちが九州・全国大会に行くには、ラーメン、カレー、素麺を売ったりして行っている。そういうお金があつたら、子供たちの全国・九州大会のほうに応援をしてほしい。

市長 今後、V・ファアレンにも、本市の子供たちに、そういう機会を与えてもらえるよう要望していきたい。それぞれのスポーツ競技で関わる子供たち、年配の方も含め、そういう場の提供を、行政として整備していかなければならない。

市民にも公開し、声を聞き見直しを

市長／計画の手順に沿って進めていく。



中村 久幸 議員

有馬商業高校跡地、多目的運動広場基本構想について

議員 このことについて

は、市民の皆さんにも情報は公表されているのか。

教育次長 まだ、そこまでは至っていない。

議員 この莫大な予算を注ぎ込む事業が、本当に必要性和利用価値があるのか、市民にも公開して広く声を聞くべきではないか。

教育長 当然、市民が活用する施設なので、丁寧に説明し、進めていかなければいけないと思って

いる。

議員 解体と広場で9億近い予算に、道路も含め総額10億円にもなるような施設を、県から土地をもらうために急いで造るのか、本当に南島原市民のために造るのか。

教育次長 市民の皆様方、大勢の方に使用していただくため整備をするもの。

議員 市民のためならば、公表した上で、いろんな意見を吸い上げて、要望が多ければ見直すところは見直し、多くの皆さんが喜んで利用されるような施設にするべきではないか。

市長 この件は、市民の皆さん方にも、議会のやりとりや議員さん方を通じて、理解を深めてもらっていると思う。市としては今回計画している手順に沿って、進めていきたいと思っている。

議員 この構想を進めた場合、維持管理費がどれくらいかかるのか。

教育次長 具体的な試算ではなく、概算で700

万程度を見込んでおり、まだ指定管理等を含め、検討をしている段階である。

議員 年間通じ、市民の皆さんが日常的に來て使えるような体制ができるのか。

教育次長 防犯上の問題もあり、他の施設と同様に、休業日や利用時間等を設定し、それ以外は施設したいと思っている。

議員 この事業については性急に進めず、もう一度立ち止まって、本当にさまざまな方向から慎重な検討をするべきである。



多目的運動広場構想案、全景イメージ

道路整備について、市民の要望にはまだまだ足りないと思うが

市長／有利な財源を活用しながら引き続き整備をしていく。



小嶋 光明 議員

行政について

議員 窓口業務で、各種

証明書の発行については、必ず免許証なり、保険証を提示するように要求される。しかし、国からの通達では、職員の面識による確認が出来る人は提示の必要はないと思うが、どうなっているのか。

市長 窓口の各種証明書の発行については、誤って発行するのを防止するため、運転免許証などを提示していただき、本人の確認をしている。議員

の提案については、法令などを含めて担当部局で検討をさせたい。

道路整備について

議員 平成29年度は、100カ所程度着工しているということだが、市民の要望、今後を考えた時には、合併特例債があるうちに仕事をしていただきたい。合併特例債は、後で償還分は来るのか。

財務課長 合併特例債の償還金に関しては、交付税で7割戻ってくる。

議員 まだまだ住民の要望には足りないと思う。沢山要望があつて、まだ着工していない部分が大いにあると思う。この点をどう思っているのか。

市長 有利な財源を活用しながら、引き続き道路整備はしていかなければならないと思う。

上下水道浄化槽について

議員 簡水が、4月から

企業会計に移行した場合、使用料だけで賄わなければならないので、現状の

料金では足りないと思う。現在も、市民の皆さんに迷惑をかけている。その点をどのように考えているのか。

水道部長 今後、委員会を立ち上げ、どんな料金が市民の皆さんに理解してもらえるか、試算をしている状況である。

議員 浄化槽と下水道と比べれば、浄化槽の料金が

高い。もう少し下水道の料金を上げるか、浄化槽に補助をすべきではないのか。

市長 下水道の加入が、思ったよりも少ない状況で、簡単に判断できない問題のような気もする。

議員 上水や下水は、市民の生活に関わる問題だから、早急に検討を重ねて、平等の精神のもとで暮らせるような施策を取っていただきたい。

料金を上げるか、浄化槽に補助をすべきではないのか。

反対署名のある事業の対応は

市長／反対署名は尊重すべきである。



下田 利春 議員

行政の継続性について

議員 平成29年第3回定

例会一般質問の中の太陽光発電問題で、市の提案で業者を変更したことは知っている。前執行部の決定は尊重する。議会に係らない案件で問題がある案件は、何らかの形で議会に相談すると答弁されたが、いまでも変わらないか。

市長 それは変わらない。

議員 市が一緒になって

関与したという証明は、どうしたら証明になるのか。

か。

副市長 前市長・前副市長が動かれて、九州環境事務所に許可基準緩和の嘆願をされている。公式に知っているのはそれだけであり、他に引継ぎを受けていない。

議員 嘆願書ではなく、認可申請書を提出に行っている。その帰りに、環境事務所長と、前副市長の協議での問題点等の説明を受け、業者変更に至った。

市も一緒に進めた証明書を某議員、当時の市の担当者も提出しているのに、なぜ証拠にならないのか。

副市長 公文書的なものが残っていない。

議員 現地は、水の自然流体を変更した開発である。流体を変更する時は、下流域の承諾が必要だが、相談を受けた世帯も承諾した世帯もない。問題が発生したら、元の自然流体に戻すべきである。また、通行権も発生しており、弁護士を介して、2

件の申し入れ書が提出されているが、対応は。

副市長 素人では難しいので、顧問弁護士と相談の準備をしている。

議員 防災対策を第一に、市と一緒に進めた経緯がある。災害、被害が出る恐れのある事業は、議員として反対すべきである。下流住民の反対署名も上がっているが対応は。

市長 反対署名が上がっている中では、簡単に認めることは出来ない。

※その後、同一地での申請は一貫した条件で。耕作権、生活権。出資金の権利について質問した。



太陽光設置には十分な防災対策を

国保税が高いのは加入者の責任ではない 国の責任である

市長／国にしっかり伝えていかなければならない。



桑原 幸治 議員

憲法9条について

議員 憲法9条をどのように評価しているか。

市長 憲法9条の本質は、戦争・武力の行使はしない、そのための戦力は保持しない、と考えている。

議員 安倍首相は、憲法9条に自衛隊を明記しようとしている。明記するとうとうなると思うか。

市長 国政の場で十分に論議していただきたい。

議員 市民の命とくらしを守るため、市長も9条改憲に反対して欲しい。今の自衛隊は、災害時に活躍する自衛隊、日本が

攻められた場合に、これに立ち向かう自衛隊（という任務）だけではない。集団的自衛権の容認、安保法制の可決等により、アメリカと一緒に戦争する自衛隊に変質している。自衛隊を憲法に明記すれば、海外で堂々と戦争ができるようになる。

政治倫理条例の制定について

議員 議会は、議員政治倫理条例をこの議会に提案しようとしている。私は市長にも4年前から要請してきたが。

市長 制定に向けて準備している。

新年度の施政方針について

議員 国保税は高すぎるという認識は持っているか。

市長 他の医療保険制度と比較して、違いがあることは認識している。

議員 国のやり方で、来年度以降の国保税は下がると思うか。

市長 下がる見込みはないと思う。

議員 国保税が高いのは国の責任だ。国に国保税を引き下げるよう要求せよ。

市長 全国市長会を通して、国に要請をしていく。

議員 一般会計からの繰り入れをやらないと、国保税は大幅引き上げになる。

市長 そういう考えのもとで、30年度も1億5,000万円繰り入れている。

議員 子どもの医療費の病院窓口無料化、高校生までの拡大、学校給食費の無料化、タクシー・バス券の枚数増、温水プールの建設など、住民の要望が強い。年間約340億円の予算配分、190億円の基金の活用により、実現は十分可能である。

所得：200万円
4人家族（親2人、子供2人）
平成29年度

種類	負担	金額
国民健康保険	本人負担	367,700円
協会健保	本人負担	185,172円
	事業主負担	185,172円
共済組合	本人負担	174,376円
	事業主負担	193,221円

保険税(料)の比較

世界遺産登録を間近に控える原城駐車場にシャワートイレを

市長／平成30年度中に温水洗浄便座を設置する。



井上 末喜 議員

新設の原城駐車場について

議員 世界遺産登録を間近に控え、トイレ使用が不評である。便器が冷たく、ウォシュレットでもなく不便である。改善は。

市長 平成30年度に、温水洗浄便座を設置するよう指示を出している。

議員 ウォシュレットはどこに行ってもついていないものなので、早い対処をお願いする。世界遺産関連施設整備基本計画の概要の説明を。

市長 来訪者の利便性を図るため、世界文化遺産

のガイダンス、観光案内、休憩所、土産品の販売、食事スペース、トイレ、駐車場などの機能を持った施設の整備に取り組んでいく。

議員 土地の地権者の同意は得られているのか。

市長 所有者の皆さん方に説明をし、ご理解をいただいている。

イノシシ対策について

議員 その後のイノシシ対策の成果と現状は。

農林水産部長 ワイヤメッシュ71万8,800m、電気柵17万4,560mで、平成22年度は1千頭以下だったが、23・24年で1千頭、25・26年で2千頭をこえ、27年度以降は3千頭台で推移している。

議員 だいぶ減ってきたようだが、イノブタがいるので、すぐ元に戻らないように続けてもらいたい。

島原鉄道跡地利用について

議員 進捗状況は。

企画振興部長 島鉄株との事務協議が整い、3月末までに寄附契約を締結予定である。

議員 木や雑草は定期的に除草しているのか。

企画振興部長 30年度当初予算に、除草・伐採等に要する費用として、1千万円計上をお願いしている。

議員 ロノ津ターミナルに、物産館などの計画は。企画振興部長 一階に売店、軽食どころを整備する予定。

議員 加津佐の物産館計画の進捗状況は。

企画振興部長 23年に策定され、年数も経過しており、現在の状況を踏まえ計画内容について、改めて検討しなければならぬと考えている。

議員 なるべく早く計画をまとめ、実施してもらいたい。



原城跡駐車場トイレ

屋外トイレの清掃についてどうなっているか

市長／現状を確認し、早急に改善を図るように指示した。



小林 知 誠 議員

交通安全について

議員 小林小学校の通学

歩道はどうなっているか。また、布津町貝崎バス停付近の信号機の改良要求、野田バス停付近の横断歩道の安全確保の要求について、市の対応を伺いたい。

市長 小林小学校の通学

路については、島原振興局でも歩道の整備が必要であると認識しており、早期の事業化に向け検討中である。

総務部長 信号機の、押

しボタン式から感知式への変更の要望については、自治会から、交通安全施設設置申出書を市へ提出していただき、市から要望書を付して警察へ進達する。

野田バス停付近の横断歩道については、交通事故発生危険性は高いと認識している。信号機の設置については、引き続き警察に要望する。

トイレの清掃・改修について

議員 12月の議会で要求

した、屋外トイレの清掃について、その後の対応を伺いたい。

総務部長 現状を確認し

た。便器・手洗い器・床タイルの黒ずみ・黄ばみ・内壁外壁の劣化・汚れ・自動水栓の故障など改善すべき点があった。清掃については、既に専門業者に発注を行った。また、照明設備や便器の洋式化については、来年度実施するよう検討を進めている。加津佐の道路公園の

トイレについては、建物・設備の改修を県にお願いした。また、日常的な清掃については、仕様書の策定を進めている。



深江運動場トイレ（業者清掃後）

市民サービスについて

議員 深江町のふれあいの家は、年末4日・年始

4日、合計8日間休みである。休みを短くして欲しいとの要求がある。

福祉保健部長 社会福祉協

議会との協議の中で、対応を進めていきたい。

義務教育学校については紙面の都合で割愛します。



現在、大学・専門学校生への奨学金は3万円だが、額を引き上げるべき

市長／しっかりと考えていかなければいけない課題なので、検討していく。



柴田 恭 成 議員

人口減少対策について

議員 人口減少は、地方

交付税にも影響すると思うが、一人減ると幾ら位影響すると思うか。

財務課長 年度によって

違うが、概ね14～15万程度影響すると思う。

議員 そうすると、年間

700人減少すると、約1億くらい交付税にも影響してくる訳で、人口減少対策を真剣に考えていかねばならないと思うが。

副市長 何を重点に今後の

対策を進めていくか絞

り込んで、対策を実施していかなければならないと思っている。

議員 人口減少に歯止めをかけていくためには、今ある誘致企業や、地域の地場産業に力を入れていくことが重要だと思うが。

市長 南島原市として、急速に減らないように、今の人口が維持できるような方策を考えていかねばならないと思う。

議員 基幹産業である農業や、水産業や、素麺業などに力を入れていくことが重要で、農業後継者対策には所得の安定化対策が必要で、そのため、

圃場整備等について、受益者負担は要らないんじゃないかと思うが。

農林水産部長 担い手農家

等に、農地を55%以上集積するという条件があるが、工事については、実質ゼロということで推進している。

市長 そういう制度を知らない方も居られると思うので、周知を徹底する

ように要望する。

議員 市営住宅には所得制限があるので、所得の高い若い方たちが入居できる公営住宅で、特公賃（特定公共賃貸住宅）建設を考えたかどうか。

市長 若い人たちがここに住んで、子供を育てることが出来るように、市として前向きに取り組まなければならないと思う。

議員 学校給食費についても、幾らかでも補助をして、子育て支援に力を入れることを公約に掲げるべきだと思うが、如何か。

市長 しっかりと考えていかねばならない課題であるので、検討していきたいと思う。



給食風景

大型事業は、合併 特例債の期限の動 向を見据え慎重に

市長／現在、計画しているものは推進する。



隈 部 和 久 議員

大型事業について

議員

現在、計画されている大型事業の内、有馬商業高校跡地の、人工芝サッカー場をメインとした多目的運動公園と、旧龍石小跡の市給食センター建設計画については、その内容や進め方の性急さに対し、非常に懸念を持っている。合併特例債の延長を視野に入れて、現場や関係者の意見や、市民の声をしっかりと反映させ、より良い物となるよう、見直しも含め再検討すべきではないか。

討すべきではないか。
【市長】 今まで協議検討し積み上げてきたので、現状の計画を推進していきたい。

【議員】 このような大型事業（この2件は教育委員会）は、担当部局2・3名で行うのではなく、プロジェクトチームを立ち上げて、計画立案から完成まで、移動のない部局横断のチームで遂行すべきである。2期目に当選されたなら、是非とも念頭においていただきたい。

公共施設の補修や雨水排水対策について

議員

各町の公共施設で建物の劣化や、内部の機器や備品等の傷みが目立つ箇所がある。旧町時代から各々の町の住民が集う施設の老朽化は、寂れ感を助長させる。将来へ残すものは順次、スピード感をもって補修、改修すべきではないか。

市長

公共施設等の総合管理計画に沿って、個々の施設の具体的な整備計

画の検討をしている。主要施設の大規模改修や修繕については、遅滞なく行っていくきたい。

雨水排水対策について

議員

近年の、短時間に集中的に降る雨に対し、旧町時代からの排水機能が対応できず、冠水する箇所が増加している。大規模な流末からの改修を、年次計画を立て是非、取り組んでもらいたい。

市長

今まで把握していない所もあったと思うが、市民の安全、安心の為にしっかりと取り組んでいきたい。



豪雨による被害

有馬の地下水の加 津佐地区への送水 を提案していたが

市長／現在、加津佐地区へ地下水を送水している。（34自治会、1,245件）



黒 岩 英 雄 議員

市長の政治姿勢について

議員

市長の市政報告の中で、私の一般質問の議案と関係する、

① 農村整備事業の補助率を、現行の5割から、農家の実情を把握し、補助率を8割へ上げてはいかがかと要望した。

② 水道事業では、平成22年3月議会でも、南有馬の北岡の福祉センターで利用している、地下水2,000トン、加津佐地区へ送水できないかと提案した。

③ イノシシ柵の、一つのマスの穴が大きいため、イノシシの子供が侵入するので小さくしてもらいたいということ、地域全体の囲い込みを実施しているところで、イノシシの進入を防げないので、柵の追加要求ができないか要望していたが。

市長

議員から、農業関係の8割補助であるとか、あるいは建設サイドの、200万円を限度とした地域で行っていたく事業実施とか、水道事業では、未普及及び地域への水道問題で、北岡の福祉センターから加津佐地区への送水問題など、いろいろと提案をしていた。き、それぞれを実施してきた。議員が言われていたことを、改めて忘れることなく思い起こしている。

イノシシの柵の件だが、今年度に、市の単独事業として、創設して防護柵機能向上対策事業は、既設の防護柵の機能をさらに向上させ、イノシシに



加津佐地区への地下水送水イメージ

よる被害を減らす目的としたが、もつと小まめに柵をできないかという要望で、各地区の調査を行ったところ、5地区3,440mの防護柵の整備に對して、今回支援を行うことにした。さまざまな要因で、防護柵の機能が十分発揮されていない地区もあることから、来年度、平成25年度以降に、防護柵を設置された地区も含めて、要望調査を行う事業の実施ができるよう取り組みたい。

ドローンについては、災害時の調査や、救助活動などに活用でき、大変有効だと思われるので、現在導入に向け検討している。

市長の基本理念の達成は

市長／一定の成果、進展をみることができたと考ええる。



田中 次廣 議員

住み続けたいまち、
住んでみたいまち
の達成について

議員 市長の基本理念である、住み続けたいまち、住んでみたいまちが、4年間でどの程度達成できたと思われるのか。

市長 透明性の高い市政、市民の立場に立った市政など公約に掲げた。一定の成果や、進展を見ることができたものと考えている。

議員 住み続けたいまち、住んでみたいまちを、市民の皆さんが感じられる

ためには、着実に取り組みを実行していくことだと思うが。

市長 市民の皆さんが、どの程度満足頂いたか分からないが、課題に取り組んできたことは、評価をいただいていると思う。

議員 市民の声、現場の声を反映した事業に取り組むことは、市政の原点であると思うが。

市長 私もそのような思いで、皆さん方の思いを受け止め市政に携わってきた。これからもそのような思いで取り組むつもりである。

市長選立候補について

議員 6月施行の、市長選挙に立候補するとの表明をされたが、立候補にあたっての公約また、どのような施策に重点的に取り組まれるのか、市長の思いは。

市長 4年間の市政運営においては、多くの課題や懸案事項について、一

定の方向性は示すことができたと思う。一方で積み残した課題、実施できなかった施策もある。人口減少の抑制、地域高規格道路の整備実現、雇用の場の確保、産業振興など、思うように効果が表れていないと思っている。

今後、そのようなことも含め取り組んでいきたい。安心して、これから先の暮らしに豊かさや希望が持てる、また感じられる南島原市であることを望んでいると思う。このような思いに、いかに取り組み、結果として市民の皆さんにお返しすることが大切と思うが。

議員 市民の皆さんは、安心して、これから先の暮らしに豊かさや希望が持てる、また感じられる南島原市であることを望んでいると思う。このような思いに、いかに取り組み、結果として市民の皆さんにお返しすることが大切と思うが。

市長 今後、私が取るべき姿勢、方向だと受け止めている。

市長 今後、私が取るべき姿勢、方向だと受け止めている。



第Ⅱ期総合計画将来像

女島山と岩戸山を結ぶ橋の構想は

市長／検討をしてみたいなという私の気持ちの状況。



林田 久富 議員

市長の政治姿勢について

議員 ①松本市長は、2期目を目指されるのか。

②次の4年間の課題と、目指すところは何か。

③4年間の市政報告をされたが、自己評価は何点か。

市長 ①立候補することになっている。

②これまでの議員への答弁と同じ。

③具体的な点数については、なかなか厳しいところである。

国民健康保険制度について

議員 全員協議会で説明をされた中で、何点か質問したいと思うが、まず、市民の皆さんに分かりやすい説明を求める。

市民生活部長 県が、財政運営の責任主体となる事。県は、市町ごとの国保事業費納付金額の決定や、保険給付に必要な費用を全額市町に対して支払う、という仕組みが大きな変点である。別表の①が、全国共通の基準による長崎県の標準保険料、②が、県が決定した算定基準3方式に基づく市の標準保険料、③が、現在保険料率4方式による標準保険料。※印の部分は、今現在の南島原市の税率となっている。

議員 長崎県では、赤字

でない自治体はどれくらいあるのか。

市民生活部長 27年度の決算の財政状況では、単年度収支では、14の市町が赤字で、7市町が黒字となっている。

議員 南島原市にとってメリットはあるのか。

市民生活部長 多様なリスクを、都道府県全体で分散するので、急激な保険料上昇が起きにくくなると思う。それに、医療費の支払いは実質的に都道府県が担うので、今までのように、市の方で医療費の支払いが年度末で急激に上がり、予算が足りず、一般会計から繰り入れをするという心配はなくなる。

議員 長崎県では、赤字

議員 長崎県では、赤字

【保険料（税）の賦課・徴収の仕組み】

○県は、医療給付費等の見込みを立て、市町ごとの国保事業費納付金の額を決定。県が設定する標準的な算定方式等に基づいて市町ごとの標準保険料率を算定・公表
○市町は、県の示す標準保険料率等を参考に、それぞれの保険料算定方式や予定収納率に基づき、それぞれの保険料率を定め、保険料を賦課。徴収し、納付金を納める。

【国保事業費納付金】（平成30年度）

区分	一般被保険者	退職被保険者	計
医療給付分	1,416,202,891 円	14,021,523 円	1,430,224,414 円
後期高齢者支援金分	445,520,838 円	4,977,107 円	450,497,945 円
介護納付金分	198,378,175 円	—	198,378,175 円
計	2,060,101,904 円	18,998,630 円	2,079,100,534 円

【市町村標準保険料率】（平成30年度）

① 全国共通の基準による県の標準保険料率（2方式）

区分	所得割率	均等割率
医療給付分	7.54%	42,876 円
後期高齢者支援金分	2.60%	14,713 円
介護納付金分	2.15%	16,014 円

② 県で決定した算定基準に基づく市町村の標準保険料率（3方式）

区分	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
医療給付分	8.59%	—	26,510 円	19,024 円
後期高齢者支援金分	3.02%	—	9,525 円	6,835 円
介護納付金分	2.55%	—	10,455 円	5,131 円

③ 現在の本市の算定方式による標準保険料率（4方式）

区分	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
医療給付分	8.43%	1.73%	24,137 円	21,967 円
後期高齢者支援金分	3.03%	0.43%	8,853 円	7,335 円
介護納付金分	2.38%	0.07%	8,971 円	7,523 円

※ 本市の現行保険税率（4方式）

区分	所得割率	資産割率	均等割額	平等割額
医療給付分	8.10%	12.00%	24,500 円	23,500 円
後期高齢者支援金分	2.60%	2.50%	7,900 円	6,900 円
介護納付金分	2.40%	2.50%	9,100 円	8,100 円

別 表

市外に通学する 中学生にも福祉 医療費を適用す るべきでは

市長／28年度から支給
の対象としている。



金子憲太郎議員

「多様な移住・定住 促進」について

議員 市政報告書の中で、東京都と長崎市に移住サポートセンターを設立したとあるが、どのような業務を行っているのか。

企画振興部長

東京では、他の自治体と共に移住相談会を開催し、それぞれの自治体が自分のまちを売り込んでいる。

議員 興味を持たれた方に対してはどのような対応をしているのか。

企画振興部長

特徴的なものでは、現地を見てみた

いという方には、空港や諫早駅などでキャンピングカーを貸し出して、自由に見て回って頂いている。本市は職員が1名同行し、市内の病院や福祉施設など、生活に必要な施設を案内したり、本市の特色を説明したりしている。その結果、49名の方たちの移住につながった。

議員 統合後の廃校を、大学生の合宿や、プロスポーツのキャンプなどに利用したらどうか。

副市長 現在、計画はないが、寮的なものにするための試算はしており、話が来たらいつでも対応できる準備はしている。

温水プールについて

議員 既存のプールの温wat化について、検討された結果は。

市長 調査をさせたところ、外気などで温水の温度が適温に保てず、大規模な改修が必要となり、相当な費用を要するとい

うことで、引き続き検討を行いたい。

議員 プールは楽しむだけでなく、腰痛やひざ痛、骨折治療後のリハビリなどに効果があると言われる、国保税の削減にもつながると思われるため、さらに検討をしていただきたい。

市長 市民の方が、小浜や島原のプールを利用されている状況は把握しており、国保の問題にもかなり影響してくると思われる、皆さんの健康面なども考えれば、検討に値する課題であると思う。

その他の質問

- ・新キリシタン墓碑
- ・臨時・非常勤の処遇



南有馬運動公園プール

議会運営委員会視察研修報告

平成30年1月25日(木)～26日(金)

南島原市議会に於いては、これまで、一般質問に於ける「一問一答方式」や、議員の質問に対して、市長等が議長の許可を得て論点・争点を明確にするため、反問することが出来る反問権の付与や議員定数の削減など、議会改革について積極的に取り組んできましたが、更に市政が市民の厳格な負託に応えるため、議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めることにより、議員の政治倫理の確立を図り、市民に信頼される公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とした政治倫理条例制定に向けての行政視察で大村市議会と福岡県嘉麻市議会を訪問し、また議案審査等に於いて視覚的な情報に基づく円滑な情報共有による、効率的な質疑応答を行うことや、ペーパーレス化の観点から、地方議

会でタブレット端末の導入が徐々にではあるが進みつつある状況を踏まえ、今後の南島原市議会に於けるタブレット端末導入の協議の参考とするため、先進的にタブレット端末を導入されている大村、嘉麻、両市議会に於ける取り組みの導入に至る経緯や具体的な実施方法、今後の課題等について詳しく丁寧なご説明を頂きました。

政治倫理条例については、市工事等に関する遵守事項として大村市議会は、配偶者、一親等または同居の親族が役員をしている企業、嘉麻市に於いては配偶者または、二親等内の親族が経営する法人等、何れも市に対する請負その他の契約を辞退するように努めなければならぬとされています。



福岡県嘉麻市視察風景

に導入されており、導入の効果として、会議等で全ての計画書や統計を見ることが可能であり、全ての定例会ごとのファイルは全て同じ構成で、議案・参考資料・本会議資料・予算特別委員会資料を検索することが出来ます。

また、議会報告会での市民からの質問等に対し、タブレットの中の各種市政情報を見ることが、調べて回答できるなど他にも導入の効果について説明を受け、今後の課題等についても積極的な質疑応答があり、有意義な視察研修となりました。

総務委員長報告

(田中次廣委員長)

議案14件を原案可決、陳情1件を採択

【議案第1号】ロノ津港ターミナル新築工事請負契約の締結について

質疑 入札方法が制限付き一般競争入札となっているが、どのような制限か。

答弁 入札の参加資格は、2社の共同企業体となっている。その内、必ず南島原市に本社のある会社を1社以上入れることになっている。あと、技術的なことや、会社の規模等で評点を中心に考え、市内以外の業者には、厳しい条件を付けている。

質疑 下請けや資材の納入等は、なるべく南島原市の業者を使われるような条件はないのか。

答弁 現在、こういう公共事業については、そのようにはっきりと謳っていない。なるべく指導の中で市内業者を使うようお願いしたい。

【議案第4号】南島原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

質疑 55歳に達した職員は昇給しない。ただし、職員で勤務成績が特に良好である場合に限りその昇給を行うとあるが、どういう基準をいうのか。

答弁 判断するのは人事評価に基づくものである。ただし、現在は人事評価の昇給に関する反映が確立されていない、今検討中である。

質疑 判断するのは人事評価に基づくものである。ただし、現在は人事評価の昇給に関する反映が確立されていない、今検討中である。

【議案第19号】丸尾・休場辺地に係る総合整備計画について

質疑 辺地債での施行と思うが、市の負担は。また、完成予定は。

答弁 辺地対策事業債があり、充当率100%で、交付税で80%入る、市の財源としては20%である。事業終了は、平成38年である。

【議案第20号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第5号)

質疑 ふるさと応援寄附金が減額になったが、要因と対策は。

答弁 28年度は、約2億円の寄附があり、29年度は3億ぐらいと考えていたが、伸びなかった。要因としては、ふるさと納税を始める自治体が増え取り合いになっていること。国の通知で、返礼品を3割以内に抑えなさいということ、全国的に伸びていないのが、大きな要因と考えている。対策として、現在インターネットの窓口が、JTB、楽天、ANAであるが、新たな窓口の設置やふるさとチョイス上でバナー広告を出す計画をしている。

質疑 28年度は、約2億円の寄附があり、29年度は3億ぐらいと考えていたが、伸びなかった。要因としては、ふるさと納税を始める自治体が増え取り合いになっていること。国の通知で、返礼品を3割以内に抑えなさいということ、全国的に伸びていないのが、大きな要因と考えている。対策として、現在インターネットの窓口が、JTB、楽天、ANAであるが、新たな窓口の設置やふるさとチョイス上でバナー広告を出す計画をしている。

質疑 28年度は、約2億円の寄附があり、29年度は3億ぐらいと考えていたが、伸びなかった。要因としては、ふるさと納税を始める自治体が増え取り合いになっていること。国の通知で、返礼品を3割以内に抑えなさいということ、全国的に伸びていないのが、大きな要因と考えている。対策として、現在インターネットの窓口が、JTB、楽天、ANAであるが、新たな窓口の設置やふるさとチョイス上でバナー広告を出す計画をしている。

質疑 28年度は、約2億円の寄附があり、29年度は3億ぐらいと考えていたが、伸びなかった。要因としては、ふるさと納税を始める自治体が増え取り合いになっていること。国の通知で、返礼品を3割以内に抑えなさいということ、全国的に伸びていないのが、大きな要因と考えている。対策として、現在インターネットの窓口が、JTB、楽天、ANAであるが、新たな窓口の設置やふるさとチョイス上でバナー広告を出す計画をしている。

質疑 28年度は、約2億円の寄附があり、29年度は3億ぐらいと考えていたが、伸びなかった。要因としては、ふるさと納税を始める自治体が増え取り合いになっていること。国の通知で、返礼品を3割以内に抑えなさいということ、全国的に伸びていないのが、大きな要因と考えている。対策として、現在インターネットの窓口が、JTB、楽天、ANAであるが、新たな窓口の設置やふるさとチョイス上でバナー広告を出す計画をしている。

質疑 28年度は、約2億円の寄附があり、29年度は3億ぐらいと考えていたが、伸びなかった。要因としては、ふるさと納税を始める自治体が増え取り合いになっていること。国の通知で、返礼品を3割以内に抑えなさいということ、全国的に伸びていないのが、大きな要因と考えている。対策として、現在インターネットの窓口が、JTB、楽天、ANAであるが、新たな窓口の設置やふるさとチョイス上でバナー広告を出す計画をしている。

質疑 28年度は、約2億円の寄附があり、29年度は3億ぐらいと考えていたが、伸びなかった。要因としては、ふるさと納税を始める自治体が増え取り合いになっていること。国の通知で、返礼品を3割以内に抑えなさいということ、全国的に伸びていないのが、大きな要因と考えている。対策として、現在インターネットの窓口が、JTB、楽天、ANAであるが、新たな窓口の設置やふるさとチョイス上でバナー広告を出す計画をしている。

文教厚生委員長報告

(隈部和久委員長)

議案9件を原案可決

【議案第20号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第5号)

質疑 小学校施設の補償費6,900万円減の理由は。

答弁 有家小学校建設に伴う補償費の件で、業務が完全に済んでいなかったため、概算での予算要求だった。

質疑 有家小学校建設にかかる予算の、現段階の見込みは。

答弁 当初は、本體工事17億円の予定だったが、現在概算で20億円を見込んでいる。

質疑 仮設校舎等で10億円の予定である。

質疑 仮設校舎等で10億円の予定である。

質疑 こども未来課で高額の減額補正が目につくが、何か原因があるのか。

答弁 園に事業実施予定の調査をし、予算計上するが、園の都合や職員配置の状況等で、実施に至らない事業等が出てくるため、減額となっている。

質疑 園に事業実施予定の調査をし、予算計上するが、園の都合や職員配置の状況等で、実施に至らない事業等が出てくるため、減額となっている。

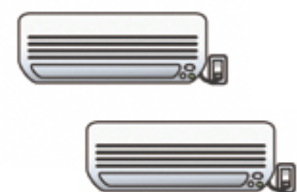
質疑 園に事業実施予定の調査をし、予算計上するが、園の都合や職員配置の状況等で、実施に至らない事業等が出てくるため、減額となっている。

質疑 園に事業実施予定の調査をし、予算計上するが、園の都合や職員配置の状況等で、実施に至らない事業等が出てくるため、減額となっている。

質疑 園に事業実施予定の調査をし、予算計上するが、園の都合や職員配置の状況等で、実施に至らない事業等が出てくるため、減額となっている。

質疑 園に事業実施予定の調査をし、予算計上するが、園の都合や職員配置の状況等で、実施に至らない事業等が出てくるため、減額となっている。

質疑 園に事業実施予定の調査をし、予算計上するが、園の都合や職員配置の状況等で、実施に至らない事業等が出てくるため、減額となっている。



農林水産・建設委員長報告

(下田利春委員長)

議案13件、発議1件を原案可決

【議案第2号】南島原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員候補者評価委員会条例の制定について

質疑 認定農業者でなくとも採用できるのか。

答弁 中立委員という農業をしていない方1名以上の採用が定められている。他に、女性や若年層の積極採用の規定がある。

質疑 農地利用最適化推進委員は、各地域割であるが、農業委員の規定は。

答弁 農業委員は、地域の指定は無く、市内で19人である。

【議案第20号】平成29年度南島原市一般会計補正予算(第5号)

〈建設部〉

質疑 繰越明許費、この事業の完成予定は。

答弁 30事業の繰越明許費を計上、うち、9事業が、完了予定はいつ頃

業が年度内完成予定、残る21事業は5月完成の見込み、6月の繰越計算書で21事業が確定になる。

質疑 道路新設改良費の工事請負費の増額理由

答弁 繰越しをお願いしている9路線の5月下旬完成に向けた進捗増の事業が多くなったため、事業完了が達成できる補正をお願いしている。

〈農林水産部〉

質疑 ワイヤメッシュが減額されているが、国には要望しているのか。

答弁 要望は出している。29年度は6割程度の配当だったが、事業が落ち着いてきており、100%の補助で設置できた。

【議案第22号】平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

質疑 繰越明許費があるが、完了予定はいつ頃

か。

答弁 貝瀬浄水場の改修工事の工期は、190日で夏ぐらいいまでかかる。

質疑 今年度3月までに終わる工事はあるのか。

答弁 浦口日野江城2号線は、年度末終了見込みである。

【議案第28号】平成30年度南島原市下水道事業特別会計予算

質疑 下水道施設整備費の補償費の中身と、積算根拠を。

答弁 水道の移転補償費である。積算根拠は、上水道課と下水道課が補償契約を結び、経年係数等を換算した額の計上である。



ワイヤーメッシュ

予算審査特別委員長報告

(松永忠次委員長)

議案第26号を原案可決

3月5日から6日までの2日間、議長を除く全議員による予算審査特別委員会慎重審議を行った。

平成30年度当初予算一般会計の総額は、300億767万2千円で、前年度比0.04%の増。

歳入歳出に対する主な質疑

質疑 骨格予算なのに平成29年度当初予算より多い理由は。

答弁 継続事業は骨格予算に計上し、平成30年度は給食センター、有家庭小学校、多目的運動広場などの継続事業があるため。

〈総務部関係〉

質疑 鳥鉄跡地の草刈り費用の内訳は。

答弁 全体32.4kmについて、草刈り、草の収集・運搬、草木の処理費を1千万計上している。

〈水道部関係〉

質疑 水道事業会計費の5億1,380万円の負担金の中身は。

答弁 公営企業会計となり独立採算制であるが、

若干故障したと聞いている。

〈農業委員会関係〉

質疑 農業委員の報酬と農地利用最適化推進委員の報酬は。

答弁 会長が4万3,500円、代理が3万6,500円。農業委員が3万4,800円。農地利用最適化推進委員は、3万6,000円となっている。

〈建設部関係〉

質疑 空き家除去の補助金のこれまでの件数は。

答弁 今年が22件、28年度が9件。

〈市民生活部関係〉

質疑 島原病院の負担金が増えた理由は。

答弁 平成30年度に放射線治療機の装置購入などが計画されている。

〈農林水産部関係〉

質疑 農道等維持管理工事費で深江の小林小学校から上る白線を引くのか。

答弁 お尋ねの区間は県道雲仙・深江線で県管理となっている。

(他にも2日間にわたり様々な質疑があった)

質疑を終了後、反対討論があり、起立採決の結果、賛成多数により、議案第26号は、可決することになった。

議員政治倫理条例調査検討特別委員長報告

(金子憲太郎委員長)

本特別委員会は平成29年9月定例議会において、議員の「政治倫理条例」を制定するために、調査検討を目的として設置することが決定されました。

第1回の委員会を平成29年10月6日に開催し、

議員を対象とする「政治倫理条例」の制定を行うことを決定したうえで、平成30年1月30日までに計7回の委員会を開催し、制定すべき条例の本身について鋭意検討を行い、「南島原市議会議員政治倫理条例案」を策定しました。

それでは、「南島原市議会議員政治倫理条例案」の骨子についてご説明いたします。

対象者は、南島原市議会議員とする。

次に、議員の政治倫理に関する規律の基本となる具体的な基準として、議員の品位を損なうような一切の行為を慎み、そ

の職務に関し不正疑惑を持たれるおそれのある行為の禁止、市が行う許認可又は請負その他の契約に関し、特定の企業や団体等のため、有利若しくは不利な取り計らいを禁止するなど7項目を規定しました。

そして、議員がその基準に違反する疑いがあると認められるときは審査の請求が出来るよう「審査請求」の基準について規定をしました。

次に、審査請求を受けるときは、議会に「政治倫理審査会」を設置することとし、その審査会での審査方法について規定を致しました。

また、委員会、審査会が終了したときは、報告書を作成し議長に提出する。

議長は、報告書を受理次第速やかに審査請求を行った代表者に文書で回答することとしました。最後に、対象議員の行

為が政治倫理基準に違反したと認められるとき、議長は議会運営委員会に諮り、「議員の辞職勧告」又は、「この条例を遵守させるための警告」「そのほか議長が必要と認める措置」などの措置を講ずることができると規定しております。

今日、地方分権が叫ばれ、地方自治体はその真価を問われ、議会の役割と責任の重要性が高まっております、議員は、市民の

負託に応え、公正で民主的な市政の発展に寄与することを基本として、市民に信頼される高い倫理性を持ち、地方自治の本来に從った活動をするこ

とが求められております。議員各位におかれましては、以上のことをご理解いただき、是非この条例の早期制定にご尽力頂きますよう、切に希望いたします。

なお、この条例案は議員を対象とした政治倫理

条例ではありますが、民主的な市政の確立のためには、議員の政治倫理だけではなく、市長等の行政倫理及び職員倫理の確立も必要不可欠であります。よって、市当局におかれましても、今後条例等の制定に向けご検討いただくよう切望いたします。

※今議会において採決の結果、全会一致で可決されました。



議員政治倫理条例調査検討特別委員会風景

平成30年 南島原市議会第1回定例会議決一覧

議案番号	件 名	議決年月日	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	平成30年3月2日	受 理
報告第2号	専決処分の報告について （南島原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について）	平成30年3月2日	受 理
報告第3号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定について）	平成30年3月2日	受 理
議案第1号	口ノ津港ターミナル新築工事請負契約の締結について	平成30年3月20日	原案可決
議案第2号	南島原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員候補者評価委員会条例の制定について	平成30年3月20日	原案可決
議案第3号	南島原市職員定数条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第4号	南島原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第5号	南島原市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第6号	南島原市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第7号	南島原市教育委員会の事務局に勤務する指導主事の給与、勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第8号	南島原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第9号	南島原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第10号	南島原市特別会計条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第11号	南島原市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第12号	南島原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第13号	南島原市立公園条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第14号	南島原市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第15号	南島原市営住宅条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第16号	南島原市コミュニティ・プラント条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第17号	南島原市社会体育施設条例の一部を改正する条例について	平成30年3月20日	原案可決
議案第18号	茸山辺地に係る総合整備計画の変更について	平成30年3月20日	原案可決
議案第19号	丸尾・休場辺地に係る総合整備計画について	平成30年3月20日	原案可決
議案第20号	平成29年度南島原市一般会計補正予算（第5号）	平成30年3月20日	原案可決
議案第21号	平成29年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	平成30年3月20日	原案可決
議案第22号	平成29年度南島原市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	平成30年3月20日	原案可決
議案第23号	平成29年度南島原市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	平成30年3月20日	原案可決
議案第24号	平成29年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	平成30年3月20日	原案可決
議案第25号	平成29年度南島原市水道事業会計補正予算（第2号）	平成30年3月20日	原案可決
議案第26号	平成30年度南島原市一般会計予算	平成30年3月20日	原案可決
議案第27号	平成30年度南島原市国民健康保険事業特別会計予算	平成30年3月20日	原案可決
議案第28号	平成30年度南島原市下水道事業特別会計予算	平成30年3月20日	原案可決
議案第29号	平成30年度南島原市後期高齢者医療特別会計予算	平成30年3月20日	原案可決
議案第30号	平成30年度南島原市水道事業会計予算	平成30年3月20日	原案可決
議案第31号	南島原市世界遺産影響評価委員会条例の制定について	平成30年3月20日	原案可決
議案第32号	平成29年度南島原市一般会計補正予算（第6号）	平成30年3月20日	原案可決
議案第33号	平成29年度南島原市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	平成30年3月20日	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成30年3月20日	答申（適任）
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	平成30年3月20日	答申（適任）
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	平成30年3月20日	同意
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	平成30年3月20日	同意
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	平成30年3月20日	同意
平成29年 陳情第1号	南島原市交通安全協会の運営・活動費にかかる補助金の見直しをお願いする陳情について	平成30年3月20日	採 択
発議第1号	「洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書」の提出について	平成30年3月20日	原案可決
発議第2号	南島原市議会議員政治倫理条例の制定について	平成30年3月20日	原案可決
	閉会中における各委員会の継続調査申出について	平成30年3月20日	決 定

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議員名	田中 次廣	金子憲太郎	小林 知誠	柴田 恭成	高木 和恵	吉田 幸一郎	隈部 和久	林田 久富	小嶋 光明	黒岩 英雄	井上 末喜	中村 久幸	下田 利春	川田 典秀	隈部 政博	吉岡 巖	山本 芳文	草柳 寛衛	桑原 幸治	松永 忠次
議案番号	議決結果																			
議案第10号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第11号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第26号	原案可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第27号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第29号	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

賛否討論

採決が分かれた議案のうち
主な意見を紹介します。

【議案第10号】南島原市 特別会計条例の一部を改 正する条例について

《反対討論》

この改正は、簡易水道を上水道に統合するもの。現在、簡易水道は、水道料だけでは採算が取れず、一般会計から繰入を受けて運営されている。これを、独立採算性の上水道に統合すれば、一般会計からの繰入が制限され、赤字分は水道料の引き上げで賄わなければならない。

【議案第11号】南島原市 後期高齢者医療に関する 条例の一部を改正する条 例について

《反対討論》

後期高齢者医療制度は、75歳以上の国民を国保や共済保険等から強制的に引き離し別の医療制度に加入させるもの。高齢者を手厚く遇する制度なら分かるが、この制度は逆。75歳以上の高齢者は病気が

にかかりやすく、医療費を抑えるため、別の医療制度に放り込むということである。現代の姥捨て山医療制度と言っても過言ではない。

【議案第26号】平成30年 度南島原市一般会計予算

《反対討論①》

反対するのは、いくつかの大型事業が計上されていること。多目的運動広場整備事業は、本当に市民の希望するものなのか。市民に公表して意見を聞いてみようという姿勢が必要。将来に大きなツケを残すことにならないか。立ち止まって検討する時間が必要。必要な骨格予算と一緒に計上し、予算が通れば議会が承認したことになる。このような予算計上の有り方に、警告する。

《反対討論②》

反対理由は3点。
(1) 市民要望の強い事業が実現されていない、不

十分。

(2) 国保税の引き下げが図られていない。

(3) 三県架橋、新幹線推進の立場に立っている。大型事業より、市民の暮らし優先の立場に立つべき。

《反対討論③》

島鉄からの無償譲渡は、実現していないのに、管理費1千万を計上されている。30年度に新規で検討していただきたい。

もう一つは、納税組合の廃止。28年度から、納税組合の納税率を必要としない自治会活動補助金の算定に移行。納税組合の納税率を廃止すると、報酬1千万以上はいらなくなるので、納税組合は廃止していただきたい。

もう一つは、自治会活動補助金と自治会長・納税組合長・農事組合長の報酬などを加算すると、1億2千万くらいあるの

で、30年度はコミュニケーションパスの運行予算に考え

直していただきたい。

《賛成討論》

この骨格予算は、義務的経費と、継続事業を計上。全ての予算が入っており、これを否決すると、執行ができませんので通すべき。反対であれば、修正案を出していただきたい。

【議案第27号】平成30年度南島原市国民健康保険事業特別会計予算

《反対討論》

国保税は、公務員や会社員などの保険料と比べ、2倍近く高い。昨年並みに4億円繰入を行うなら、市民の要求である国保税の引き下げが実現できる。この予算は国保税引き下げになっていない。

《賛成討論》

国保会計が引き上げにならないよう努力されている。そして委任払制度、前もって手続きを取れば、必要な額だけ支払えばいいというような声も聞いている。この制度を続けてもらいたい。

【議案第29号】平成30年 度南島原市後期高齢者医 療特別会計予算

《反対討論》

反対の理由は、3項目。
(1) 受けられる医療が制限される別立て診療報酬になっている。

(2) 保険料は年金から強制的に天引きされ医療費が増えると保険料が引き上げられる仕組みになっている。

(3) 高齢者でも、保険料を払えない人は、保険証を取り上げられる。

《賛成討論》

国保対象者は、後期高齢者の保険料を支援している。病気をしないよう、心がけることも保険者の立場。みんなで助け合っ

【発議第2号】南島原市 議会議員政治倫理条例の 制定について

《賛成討論》

この条例は、市議会議員として、どのようにあるべきか定めたもので、議員活動の指針とすべきもの。提案された条例案は、市民の期待にも応えた内容になっている。

人事案件

人権擁護委員

(平成30年7月1日)
平成33年6月30日



吉岡純子氏
(有家町)



松島澄子氏
(南有馬町)

固定資産評価審査委員

(平成30年5月26日)
平成33年5月25日



隈部禮次郎氏
(布津町)



栗田幸隆氏
(口之津町)



石田正洋氏
(北有馬町)

議会ミニミニ通信

山口県防府市議会議員が 南島原市を視察されました

平成30年2月1日、山口県防府市議会自由民主党市政会の方々が、行政視察を行うため、本市を訪れました。

研修ではまず、南島原市議会田中総務委員長への歓迎の挨拶に引き続き、防府市議会自由民主党市政会清水代表から挨拶がありました。

その後、研修テーマである農村漁村の体験民泊について、主に体験型観光の概要、民泊事業への取り組みと経緯、受入家庭の勧誘方法、民泊業務の体制・実績、市の支援などについて、担当課職員が説明を行いました。

その後の質疑応答では、事業を始めた頃の苦労話、事業がもたらす経済効果、修学旅行の募集方法、体験メニューなどについて様々な質問があり、多くの意見交換が行われました。



研修の様子

編集後記

取りまく社会環境として、世界では、核問題・テロなどが発生し、国内では、国政での文書書き換え・忖度問題、また、地方では、合併特例債の減額や、急速な少子・高齢化が進んでいる。

そんな中、本市においては、待望の、ユネスコによる「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録認定が期待され、第Ⅱ期南島原市総合計画が策定された。

また、6月10日には市長・市議の同時選挙が行われる。定数19名の新たな顔ぶれで、市民、行政、議会が一丸となり、南島原市の発展に努めたい。

議会広報編集特別委員

松永忠次



議会を傍聴 しましょう!

南島原市議会は市民の皆様のお越しをお待ちしています。

詳しくは議会事務局へお尋ねください。

電話 **0957・73・6611**

議会広報 編集特別委員会

委員長 金子憲太郎
副委員長 中村久幸
委員 田中次廣
委員 吉田幸一郎
委員 隈部和久
委員 下田利春
委員 松永忠次

【発行責任者】

議長 中村 一三



この南島原市議会だよりは環境にやさしい「再生紙」と「植物性大豆インキ」を使用しています。

※議会だよりにより、ご意見、ご感想がありましたら、議会事務局「議会だより」係までお願いします。
〒859-2202 南島原市有家町山川58番地 ☎0957-73-6611
メールアドレス:gikai@city.minamishimabara.lg.jp